

報道関係各位

2020年4月1日

破砕設備の安全性とランニングコストの低減を実現  
破砕設備用 爆発抑制装置「ハイパーガード®」1号機を納入

株式会社モリタホールディングス

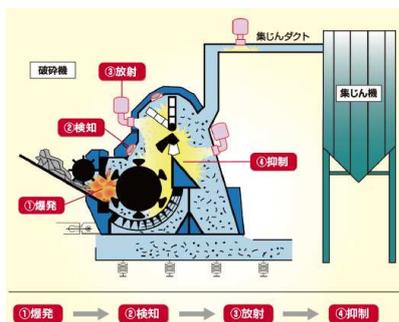
当社の連結子会社である株式会社モリタ環境テック(本社:千葉、代表取締役:中野中経)は、廃棄物処理や資源リサイクル施設で使用する破砕設備の安全性とランニングコストの低減を目指し、新型の爆発抑制装置「ハイパーガード®」を2018年6月に開発し、その1号機を、フジメタルリサイクル株式会社(所在地:東京)様へ納入いたしました。

■「ハイパーガード®」の特徴

爆発抑制装置「ハイパーガード®」は、廃家電や廃車などを破砕する破砕機内で生じた爆発を抑制する装置です。廃棄物処理業や資源リサイクル業にとって欠かせない破砕設備は、搬入される廃棄物中の危険物等による爆発および火災事故が多数発生していることを受け開発に着手しました。具体的には、破砕機に紛れ込んだボンベ(可燃性ガス)をはじめ、油類、塗料類に起因した爆発に至る微小圧力を瞬時に検知する機構と、当社独自の高速開放機構を兼ね備えたこれまでにない爆発抑制装置であり、破砕機及び集じん装置の被害を低減します。また、「ハイパーガード®」は、これまでの爆発抑制装置の課題(使用後に、専門の工場では消火剤の詰め替えを実施する必要あり)を解決し、消火剤の詰め替えが設置現場ですみやかに実施することができ、かつ、容器弁の繰り返し使用も可能としましたので、破砕設備の停止期間(操業停止期間)を大幅に短縮することができ、ランニングコストの低減を実現しました。

「ハイパーガード®」は、当社製破砕機だけでなく、他社製破砕機にも取付けが可能です(仕様によっては取付けができない場合もあります)。

モリタ環境テックは、今後もお客様の声を大切にし、より安全で実用性の高い製品とソリューションを提供してまいります。



爆発抑制の仕組み



集じんダクトに取付け



爆発抑制装置「ハイパーガード®」放射

■主要諸元

- ・消火容器 :高速放出消火容器
- ・圧力センサ :ダイヤフラム型
- ・空気圧縮機 :0.98MPa
- ・電源 :200V/220V(動力用)、100V(制御用)

■販売目標

- ・販売目標台数 :3台/年間
- ・販売価格 :25百万円~(税抜)

本件に関するお問合せ先  
株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:石橋 TEL:03-6400-3485